

## 奈良県における取組

みつえ高原牧場を核として畜産振興や地域振興を目指す。

### ○県内畜産農家の意向

- ・畜産経営の規模拡大の意向
- ・畜産生産拠点整備の要望
- ・6次産業化への意向

### ○地元自治体の意向

- ・交流人口増加と移住の促進
- ・雇用の場の創出
- ・地場産品を活用した特産品の開発



### みつえ高原牧場活用の方向性を検討

- ・酪農、肉用牛肥育の大規模農場の誘致
- ・和牛繁殖の取組
- ・地域振興・にぎわいづくり  
(オーベルジュ、畜産加工品製造直売所、ふれあい牧場)

### <平成30年度事業>

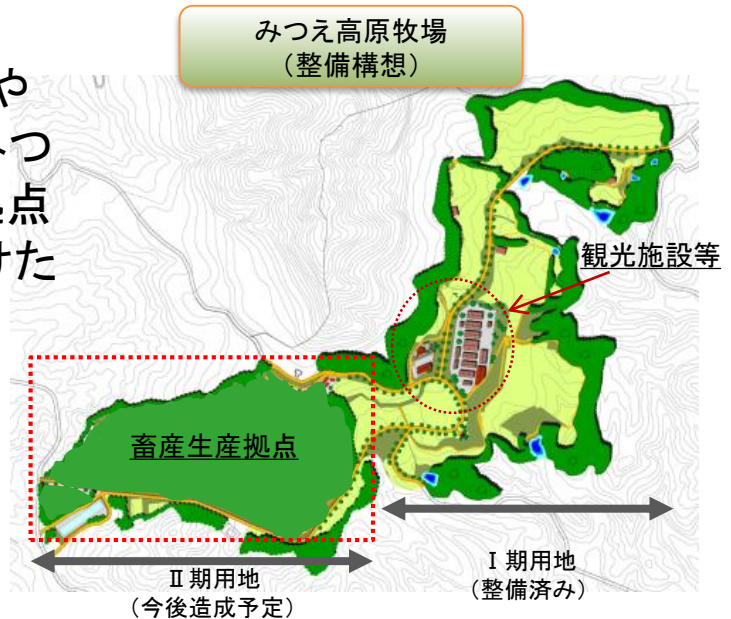
#### ○ みつえ高原牧場を活用した畜産交流拠点検討事業

県東部山間にある、みつえ高原牧場を活用した畜産交流拠点の整備に向けて、畜産拠点、試験研究、観光振興のそれぞれのデザインを明確にし、実行計画を具体化する。

# 国にお願いすること

現在、奈良県では産業振興や交流人口の増加を目指し、「みつえ高原牧場」を核とした交流拠点や畜産生産拠点の整備に向けた基本計画を策定している。

また、これらを整備するにあたって、施設用地の造成費も含めた財源についても検討しているところ。



## 畜産生産拠点の整備

☆奈良県畜産経営のモデルとなる畜産生産拠点を整備

◇畜産の研修生の実習の場

◆飼養規模: 肉用牛500頭  
搾乳牛1000頭  
(3事業者の参入を予定)

◆用地造成: 県が整備

◆畜舎整備: 各事業者が整備

<課題>

・山林を造成するため事業費が嵩む

## オーベルジュ等の整備

みつえ高原牧場を核とした地域振興に貢献する施設の整備

- ◆オーベルジュ・物販施設
  - ・レストラン20席、客室5室
  - ・物販施設100m<sup>2</sup>
- ◆加工処理体験施設、ふれあい牧場等



オーベルジュ



ふれあい牧場

## 【要望】

本拠点の整備は、畜産振興のみならず、6次産業化等による地域経済への波及効果も大きい事業であることから、このような取組に対する新たな補助制度の創設をお願いしたい。